

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	牛伏川を伝えよう防災遺産活用事業		
事業主体 (連絡先)	牛伏鉢伏友の会	代表者：加藤 輝和	
		松本市内田 2151-4	tel 0263-58-8295
事業区分	401 地域防災力の向上 703 生涯を通じた学びと文化スポーツに親しむ環境作り		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	670, 480 円 (内支援金 480,000 円)		

#### 事業内容

牛伏川の歴史的砂防施設を防災遺産として地域により広く知ってもらうため、現地調査、現地案内活動、現地の環境整備に取り組む。また「防災遺産学習講座」を開催し、案内活動ができる市民人材を養成する。

- ・6月～1月 防災遺産学習講座5回実施
- ・4月～12月 牛伏川の砂防施設などの見学案内
- ・見学者のために資料作成、案内看板の作成等

#### 事業効果

- ・防災遺産学習講座を通し、意欲的な学習、現地での実習を通じて、案内人が増加した。
- ・講座で養成された案内人が、実際の見学案内に取り組み、見学者の増加に対応した。
- ・行政(県及び松本市)や地元との連携会議を2回の他、現地立ち会いを行い、取り組みに関する意見交換、見学環境整備の課題について検討できた。
- ・防災遺産への見学をわかりやすく案内するリーフレット見学用パンフレットなどの資料づくりが充実できた。
- ・環境整備(草刈り)を他団体の協力をえて実施した。



- 【目標・ねらい】**
- 防災遺産の魅力発信
  - 市民参加
  - 魅力の発信、広報の充実
  - 行政との連携した活動

※2 自己評価 (事業効果) **【 B 】**

#### 今後の取り組み

- 1) 市民の財産として防災遺産牛伏川の魅力をさらに広めるため、関係団体、県や市などの行政機関と連携した活動に取り組む
- 2) 案内人の増加に引き続き取り組む。  
案内者の増加、力量向上を支援できる仕組みなどの確立を図る。
- 3) 現地への誘導案内の改善、案内用パンフレットの改定などにより、県内、県外にPRを充実し、見学者の増加をめざす。

**【理由】**  
行政機関と協力し、牛伏川を防災遺産として活用する事業に着実に取り組めた。講座を通じ、見学案内などに取り組める市民はまだ少ないが、見学者が増加しており、案内活動に実績がえられた。

※自己評価(事業効果)欄は、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある